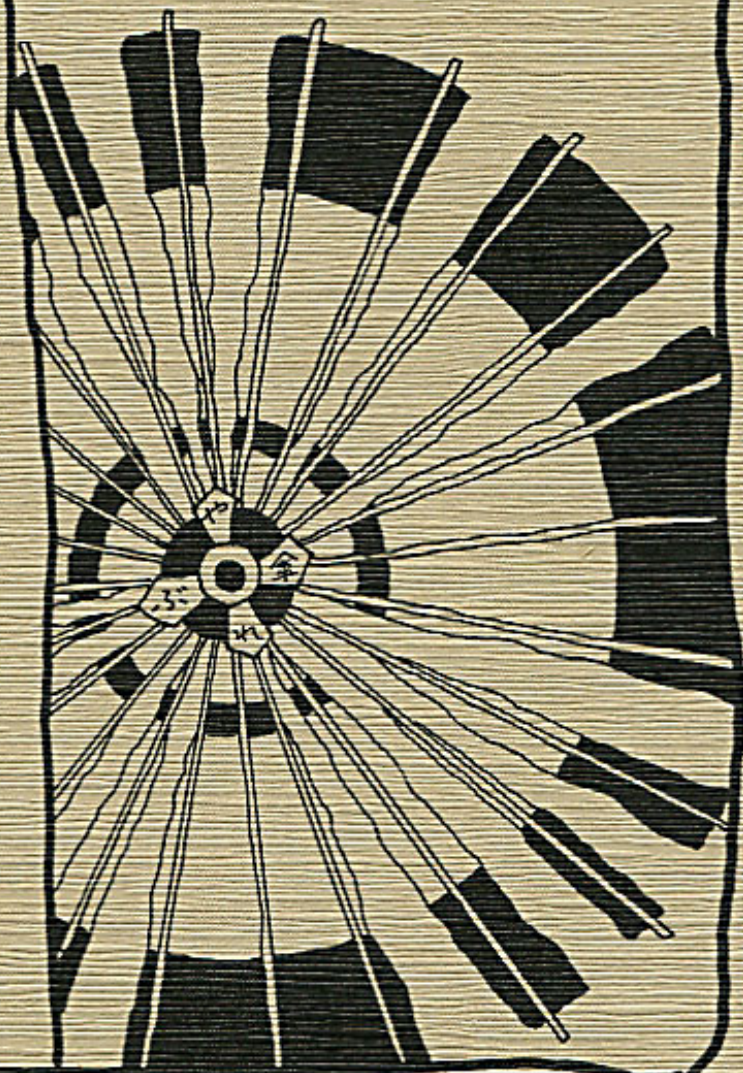


やぶれ傘



五十七号

二〇二〇年十二月

和紙貼りし筈に山栗売られけり	根橋宏次
米びつへあける新米手をそへて	きくちきみえ
破れ蓮午後の散歩に出でたれば	大島英昭
朱印所に座せる住職藤袴	丑久保勲
風といふ風にこゑあり暮の秋	安藤久美子
青空にぶらさがりたる柘榴の実	廣瀬雅男
アドバルーンあげて開店神の留守	秋葉貞子
人声の山へ消えけり木の实落つ	白石正躬
池の辺の雨となりけり十三夜	藤井美晴
用水に橋の架けられ赤のまま	渡邊孝彦
月の宿薙刀掛る長押かな	瀬島酒望
髪濡らす雨となりけり萩白し	國保八江
雪溪やこんこんと割る茹たまご	有賀昌子
数珠玉や流れの速き濁り川	天野美登里
今見し夢巻き戻しゐる夜寒かな	久世孝雄

抄 集 句 選 夫 紀 崎 大 傘 ぶ れ や

冬晴れのマルマラ海に鶺鴒の並ぶ	松村光典
石仏の傾ぎ合ひけり竹の春	秋山信行
天高し宅配便は駆け足で	岩藤礼子
身をよする片かげせまき籬かな	奥田温子
さはやかや通されし間の新畳	上林富子
夕風に一筋の秋交ざりけり	菊地葉子
新米の炊きあがりたるひとり分	忽那みさ子
異郷とをメールで結ぶ夏の果て	黒木東吾
長き夜や飛驒の地酒と和らふそく	齋藤朋子
読書する少女鬼灯鳴らしけり	高橋 均
便りありサフラン咲いた早よう来い	高柳正幸
国分寺跡の小道や秋桜	都丸スミ代
盆様は手打ちうどんの昼餉なり	貫井照子
年輪の浮きし杉戸や曼珠沙華	松本善一
地の塩を舐めてまた浮く秋の蝶	松本正生

鬼やんま

大崎 紀夫

津軽なり南瓜ごろりと路に出て
水切りの小石にぬくみ赤とんぼ
釣り人の背の眠さうに鬼やんま
茱萸の実や畑も墓も日を受けて
稲を刈りいまもマタギの村といふ

棒稻架の百に夕日の差しにけり
山廬へのだらだら坂や赤とんぼ
タンカーの積荷に釣瓶落しかな
岸に寄る葉屑枝屑雁渡し
まぶしきは朝日つぎつぎ鮭打たれ

上げ潮の中州の雀蛤に

悼 森 澄雄先生

秋蝶の近江の風に乘りにけり

山 栗

根橋宏次

新豆腐絹と木綿をこもごもに
舟よりの鉄で了へる松手入
泡立草浅瀬の石に水ひかり
和紙貼りし笊に山栗売られけり
川上に雨雲垂るる芋煮会
紐張つて畝つくりゐる鴟のこゑ
窯の辺に来て柿色の小鳥かな
ときをりは丸木渡りに水の秋
菓^{をな}耳^{もみ}を帽子に付けしこと忘れ
投げ入れの壺にさるとり茨の実

新米

きくちきみえ

門灯の瞬きに鳴くちちろかな
秋の灯をからめペロンチーノかな
米びつへあける新米手をそへて
爽涼や野菜はなべて千切りに
とんぼうの影は蜻蛉をはみ出しぬ
水たまる縁を光らせ秋ともし
御手洗の水のさざめく秋の蟬
大揺れのあとの小揺れや猫じやし
鯉の背に日の丸模様秋暑し
どぶろくや意味の分からぬ童歌

破れ蓮

大島英昭

新藁の捨て置かれゐるにほひかな
径に沿ふ日向日蔭やゐのこづち
さ庭掃く人とつくつく法師かな
ぽつちやりとした蟋蟀を掴みけり
三台のバス溜り場に秋没日
山上は露結びたる日の出かな
花らしきまでつけてゐる籬の穂
破れ蓮午後の散歩に出でたれば
草の穂を踏んで道なきところまで
小流れの底は赤土水澄めり

藤袴

丑久保勲

工員の食後のベンチ酔芙蓉
人声の磴登り来る萩の寺
白萩の磴に枝垂る男坂
朱印所に座せる住職藤袴
秋草のなかに注連縄張られけり
棒杭に長靴を挿す蓼の花
集落に入りし古道や石榴の実
菜園にラジオの声や宵の月
庭の茸毒きのこではなささうな
弾かれし墨壺の糸柿日和

暮の秋

安藤久美子

秋空へ急な坂道尽きにけり
鳳凰を揺らし神輿のいざ街へ
風を入れ金木屋の部屋となる
カフェラテにハートの形菊日和
押上は武蔵の国や塔に月
萩尾花壺へ投入れひとりなる
桔梗咲く風のさらさら日和かな
箸置にあけびの蔓を走り蕎麦
林檎喰み林檎農家の話など
風といふ風にこゑあり暮の秋

柘榴の実

廣瀬雅男

入院の妻に着替へを秋の雨
すべり台滑る子のゐて小鳥来る
やや寒や腕を締めゆく血圧計
石ひとつ置きたる墓や木の実落つ
焼き団子匂ふ街道萩は実
藁塚にしづくのひかる夜明けかな
がまずみの紅にうつろふ日の斑かな
青空にぶらさがりたる柘榴の実
方丈の軒に薪積む紅葉寺
まろき実と長き実熟るる夫婦柿

神の留守

秋葉貞子

長き夜の灯のかたむきてダーズリン
日光は男山女山と粧ひけり
時雨くるつまづき癖はいつよりぞ
大和路の遠見の塔は柿たわわ
産土へ道をかくして霧流る
店先の風に染まりし紅林檎
ふかし芋ほっこり割りて戦中派
アドバルーンあげて開店神の留守
落葉して湧水細く峯の茶屋
色の濃き雨となりけり難紅葉

◇ 1~2月の句会案内

月	日	時	句会名	会場	連絡先
1月	4日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	4日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島 孟
	5日(水)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	7日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	7日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	15日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	22日(土)	AM10:00	楽天会	戸田市中央公民館	廣瀬雅男
	23日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	26日(水)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
2月	1日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	1日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島 孟
	4日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	4日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	7日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	19日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	20日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	鎌倉・極楽寺ほか	丑久保 勲
	23日(水)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	26日(土)	AM10:00	楽天会	戸田市中央公民館	廣瀬雅男
	27日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室

(注) ぎんなん会は奇数月は第1水曜、偶数月は第1月曜です。

2月20日(日)の吟行。集合は10時。JR鎌倉駅西口改札を出て江ノ電改札前。
吟行地: 極楽寺・成就院ほか。句会場: 大船・玉縄学習センター第2集会室。大船
駅から徒歩10分。タクシーを利用しても可。

◎ 連絡先

瀬島 孟	☎ 048-862-2757	藤井美晴	☎ 0422-55-2733
大島英昭	☎ 048-592-5041	WEP編集室	☎ 03-5368-1870
廣瀬雅男	☎ 048-443-7522	浦和コミセン	☎ 048-887-6565
丑久保 勲	☎ 048-853-3856	WEP俳句教室	WEP編集室へ